

## 江別市の小中一貫教育の目的

小中連携教育のうち「目指す子ども像の共有」と9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す

### 目指す子ども像

**夢をいただき 仲間と共に 未来を拓く子ども**

これからの「今まで通りでは通用しない」「正解が見えない」社会を生き抜くには、「主体性を持ち、多様な人々と協力して、問題を発見し、答え（最適解・納得解）を見出していく力」が求められています。9年間の教育活動において、子どもたちに「夢をいただく」ことで将来を見据えさせ、自らが、他とともに、課題解決を図る「ともに未来をひらく力」を付けていくことが重要であることから、上記めざす子ども像を設定しました。

## 目指す具体像

- ① 目標に向かって努力する子  
(強さ、課題解決力、夢の追及)
- ② 自分の考えを表現する子  
(伝える力、ICTの活用)
- ③ 仲間と共に協力する子  
(思考力、協働、対話、思いやり)
- ④ 元気に挨拶する子  
(礼儀、たくましさ、地域との連携)
- ⑤ ふるさと江別を愛する子  
(郷土愛、総合的な学習、CS)



一目でわかる！

令和5年度保存版

# 一中校区 小中一貫教育

### 上江小教育目標

いきいき のびのび  
○かんがえる子  
○やさしい子  
○げんきな子  
○なかよくする子

### 第一小学校教育目標

夢をいただき 未来をひらく  
江別第一小の子ども  
○思いやりをもち 助け合う子  
○すすんで学び よく考える子  
○ねばり強く やりぬく子  
○心もからだも たくましい子

### 第一中学校教育目標

○自ら進んで学び未来を創造する生徒  
○豊かな心を持ち互いに協力して生活を高める生徒  
○強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

「一目でわかる小中一貫教育 PDF 版」は、各校ホームページよりダウンロードできます

## 学習のスタンダード

### 一中校区学習スタンダード (学びで大切にすること)

書く  
対話  
表現



## 三校共通指導事項

- ☆ 自分から「あいさつ」をしよう。
- ☆ 「言葉づかい」に気をつけよう。
- ☆ 思いやりの心を持とう。
- ☆ 「きまり」を守ろう。
- ☆ 学習の準備をしっかりとしよう。
- ☆ 落ち着いて学習に取り組もう。
- ☆ 進んで学習に取り組もう。
- ☆ 家で勉強する時間を作ろう。
- ※ 江別第一小は、三中校区ともこの8つの約束を共有しています。

## 9年間見通した系統的な指導

☆ 江別市では、系統表を作成し、小学校と中学校の教員が共に「これからどう学習していくのか」「これまでどう学習してきたのか」9年間のつながりを意識して指導をしていきます。

<b>国語</b> ○自分の考えを書く場面を設定します。 ○定期試験における記述問題を充実させます。 ○作文指導ではタブレットを活用します。	<b>算数・数学</b> ○たし算、ひき算、かけ算、わり算を確実に定着させます。 ○自分の考えを説明する力、書く力を系統的に指導していきます。	<b>社会</b> ○都道府県、地図記号、北方領土、国の名称と位置、海洋の名称を学年に応じて指導していきます。 ○北海道に関する教育を充実させます。	<b>理科</b> ○ビベット、メスシリンダーなど実験器具の使い方を確実に理解させます。 ○科学的な言葉の語彙を小学校段階から増やしていきます。	<b>外国語・英語</b> ○小学校では、さまざまな活動を通して語彙を増やしていきます。 ○小学校段階でアルファベットを書けるように指導します。
<b>音楽</b> ○9年間で表現することを楽しむ児童・生徒を育てていきます。 ○リズム打ち・遊びに日常的に取り組んでいきます。	<b>体育</b> ○タブレットを活用した授業を進めていきます。 ○体力向上の取り組みを9年間続けていきます。	<b>図工・美術</b> ○他学年の作品を鑑賞し合える環境づくりを進めていきます。 ○彫刻刀や絵の具の使い方を共通指導していきます。	<b>技術・家庭</b> ○玉どめ、玉結びなどの技能を小学校段階で身に付けさせます。 ○9年間を見通したプログラミング教育の充実を図っていきます。	<b>総合</b> ○SDGsの視点で指導計画を見直ししていきます。 ○キャリアパスポートを改善し、キャリア教育の充実を図ります。

## 乗り入れ授業・指導

- ☆ これまで一中校区では、中学校外国語教諭による外国語指導や授業参観を実施し、中学校入学後の新しい教科である「英語」の授業の体験をしたり、説明を受けたりしています。
- ☆ 卒業を控えた6年生の様子を第一中学校の主幹教諭が参観し、中学校に向けての心構えなどを話す日を設定しています。

## 児童会・生徒会合同事業

- ☆ 令和4年度は、小中の書記局の交流を目的として第一中生徒会と上江小児童会合同の挨拶運動を実施しました。
- ☆ 令和5年度は、小学校間の児童会組織や活動の連携も進めていきます。

## 中学校体験

- ☆ 中1ギャップの緩和のために小学校6年生の中学校登校と中学校での給食を年1回以上行います。
- ☆ 中学校生活（勉強、部活、評価の仕組み）などについて説明を受けます。
- ☆ 中学校の旅行の行事に合わせて空いている教室で小学校の担任か中学校の教員が授業を行います。
- ☆ 4時間目終了後には、中学校で給食を食べます。(第一小は弾力的に実施します)



R4 小中合同挨拶運動の様子

## 部活動体験

- ☆ 令和4年度は、秋休み期間に部活動体験をしました。期間中は複数の部活の見学ができます。
- ☆ 令和4年度は、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、野球部、サッカー部、吹奏楽部、剣道部、美術部、ソフトテニス部の体験を実施しました。
- ☆ 保護者の方も一緒に来校することができます。



## 一中校区合同研修会

### 教科部会

- 系統性ある指導計画
- 教科ごとの基礎的・基本的な指導内容の共通理解



- ☆ 小中一貫した学習・児童生徒指導の「スタンダード」を設定していきます。
- ☆ 教科系統表を活用して、9年間で各教科の基礎的・基本的な内容を定着させていきます。

### 特別部会

#### 特別支援教育部会

- 小中間の系統性ある指導について
- 3校交流事業の計画

#### 生徒指導部会

- 3校共通の生活規律の確立
- 生徒指導交流

#### 総合・キャリア部会

- 9年間のキャリアパスポートの作成
- 系統性ある総合的な学習の確立

#### 児童会生徒会部会

- 児童会・生徒会組織の系統性検討
- 3校合同企画の検討

#### 小中接続部会

- 学習のスタンダードの作成
- 部活動体験
- 中学校体験

令和5年度  
5月17日 第一回合同研修会  
11月21日 第二回合同研修会  
1月16日 第三回合同研修会